

入学式

四月七日金曜日に、第一百十三回目の附属中学校の入学式が本校の講堂で行われました。

新入生の中には、すでに知っている人と仲良くしている人もいましたが、知っている人がおらず、とても緊張した面持ちの人もいました。この日は残念ながら雨が降り、記念撮影が室内で行われただけではなく、初めての学校への登校も大変でしたが、入学式は大成功だったと思います。

入学式を終え、三年間の中学校生活を頑張ろう、と

思っている新入生も多いのではないかと思います。大変なことや困難なことにもたくさん出会うと思いますが、入学式に臨んだ時に抱いていた強い意志を忘れずに頑張っていきたいと思います。

(一年)

入学式が行われたのもずいぶん前のように感じますが、新入生の皆さんは附属中学校に慣れましたか。式の日、周りには知らない人ばかりで、緊張していた人もいるのではないのでしょうか。僕は新入生の皆さんを後ろから見ている、新入らしい初々しさを感じました。かつては在校生の皆さんも持っていたものですが、いまは新入

生の皆さんにしかないものです。これからも大切にしてください。また、僕たちも苦戦してきたこの学校独特の「附属礼」も少しの練習のみでできていたことに驚きました。新入生の皆さんのすばらしさをたくさん発見することができました。新入生の皆さん、これからは附属中学校の環境に早く慣れ、様々なことに挑戦していきましょう。

(二年)

きれいに咲いた校門の桜に出迎えられ、今年度は百二十名の新入生が附属中学校に入学しました。入学許可で名前を呼ばれた際の新入生の返事は、どの声も堂々としており、附属中学校での新しい学校生活への期待や希望に満ち溢れていたように感じら

れました。また、私たち三年生はいよいよ最高学年となりました。入学式に出席することで、後輩にお手本を示すことができるように頑張りたい、と改めて思うことができました。

(三年)

新入生歓迎会

入学式の次の登校日、四月十日月曜日に、本校の講堂で新入生歓迎会が行われ、在校生が新入生の入学を祝いました。

新入生歓迎会では、生徒会や班活動の紹介が行われました。生徒会の紹介は、生徒会機構図などが用いられており、分かりやすか

ったです。また、各局や委員会の活動内容なども発表されました。班活動の紹介は、新入生、在校生共に楽しみにしていたとおもいます。どの班も、スライドを流したり、寸劇を演じたり、演奏を行うなどして工夫を凝らし、自分たちの魅力を紹介していました。スライドを使っていたのはマイクロワールド班など、寸劇は剣道班や女子テニス班などが、演奏は管弦楽班や合唱班が行っていました。

(一年)

在校生の温かい拍手に包まれて講堂に入ってくる百二十人の新入生はとても緊張した面持ちで、昨年度の自分たちを思い出させられました。会は生徒会紹介から始まり、執行部の方が詳しく説明して下

さりました。その後は皆が楽しみにしていた班紹介がありました。その中には華やかなパフォーマンスや寸劇もありました。講堂にいた人全員が楽しめたのではないのでしょうか。新入生はこの会を通じて、学校のことを詳しく知り、少し慣れることができたのではないかと思えました。

(二年)

生徒会の紹介、班活動の様子など様々な点から附属中学校について新入生に紹介されました。班紹介では、どの班もその班らしい良さが詰まった紹介がされ、興味深いものばかりでした。面白く、思わず笑ってしまうようなものから、すごいな、やってみいなと思わせられるものまでありました。入学したばかりの新入生にも附属

中学校のことについてたくさん伝えられ、緊張をほぐすこともできたのではないかと思えます。新入生の皆さんも、行事、班活動や毎日の授業に積極的に参加し、一緒により良い附属中学校をつくっていきましょう。

(三年)

執行部から！

今年度に発行される附中新聞には初めて載るコーナーで、新入生の皆さんが目にするのは今回が初めてではないかと思えます。このコーナーでは私たち執行部から、生徒会会員である皆さんに伝えたいことを発信していきます。第四号の附中新聞は今年度の生徒会スローガンと学校新聞編集委員会についての紹介です。

生徒会スローガン

突然ですが、皆さんは今年度の生徒会スローガンを覚えていますか。今年度の生徒会スローガンは「**状況を見て、本場にすべきことを考える**」です。このスローガンには私たち執行部のたくさんの思いが込められています。私たち執行部は、自分の置かれている状況を見て気付いたことから何をすべきかを考える能力が必要と考えています。私たちがまず附属生に足りないことは、意思表示をすることだ、と考えています。皆さんはこの学校の生徒会の一員です。より良い学校を目指すためにも、自分の立場やその場の状況から、本場にすべきことを考えましょう。そうすれば私たちの学校もより良くなるのではないのでしょうか。

学校新聞編集委員

私たち学校新聞編集委員会の仕事は大きく分けて二つあります。一つ目は附中新聞の発行です。附中新聞に掲載されることは主に附属中学校で行われた行事などについてです。新聞記事は学校新聞編集委員が書くことが大半ですが、インタビューなどを行い、その内容を載せることなどもあります。二つ目は行事後のアンケートの実施です。これらのアンケートをもとに総括を作り、これからの行事や、より良い学校づくりに活かしていきます。学校新聞編集委員全員で協力し、一年間頑張っていきます。よろしくお願ひします。

（あとがき）

附中新聞第四号はいかがでしたか。

今回は入学式と新入生歓迎会についての新聞でした。新年度が始まってからもう一か月が過ぎようとしています。皆さんは新生活には慣れましたか。一年生の皆さんも附属中学校のことが少しずつ分かってきたのではないのでしょうか。今回の附中新聞でも紹介がありましたが、本校の今年度の生徒会スローガンは「**状況を見て、本場にすべきことを考える**」です。このスローガンを意識し、自分のすべきことを考えていく中で、一人ひとりが生徒会会員である自覚を持ち、皆でこの学校をより良くしていきましょう。

(三年)